



佐藤 和也 教授が自動運転車両等の試乗・体験会に 人追従型ロボット車を出展

【概要】

機械工学部門の佐藤 和也 教授が、2022年11月19日（土）、20日（日）に嬉野温泉駅 東口駐車場にて開催された自動運転車両等の試乗・体験会に、「人追従型ロボット車」を出展し、これを用いた観光客荷物運搬サービスの体験会を実施しました。

【本文】

2022年11月19日（土）、20日（日）に、理工学部機械工学部門の佐藤 和也 教授が、嬉野市未来技術地域実装協議会が主催する「自動運転車両等の試乗・体験会」において、開発中の「人追従型ロボット車」を出展し、来場者にこのロボット車を用いた観光客荷物運搬サービスを体験していただきました。

本試乗・体験会は、嬉野市が内閣府「未来技術社会実装事業」に採択されたことを受け、観光が主産業の一つである嬉野市において、「I♡URESHINO」をコンセプトとして、新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む未来技術を活かした観光まちづくり事業を推進するために実施されました。当日は嬉野温泉駅 東口駐車場にて自動車両への試乗、パーソナルモビリティへの試乗、ならびに追従ロボット車の体験が実施されました。前日の11月18日（金）には、メディアなどに自動運転車両の試乗・体験会の様子が公開されました (<https://youtu.be/9opWASnwl4s>)。

人追従型ロボット車の体験会には、理工学部が連携協定を結んでいる嬉野市の村上 大祐 市長も参加され、走っても速度を上げて人に追従するロボット車の仕組みに驚いた様子でした。また連日多くの来場者に体験をしていただき、「ついてくるのが可愛い」、「荷物搬送だけではなく農作物の搬送にも使えそう」、「早く実用化して欲しい」といった意見が寄せられました。本ロボット車の仕組みの特徴として、ビブス（ベスト状の装着具）を着た人にロボット車が追従するために、5歳程度の子供でもビブスを着れば追従可能であることを体験していただきました。今後、実装化に向けてさらに開発を進めていきます。

※参考

嬉野市「自動運転車両等の試乗・体験会開催のご案内」ホームページ

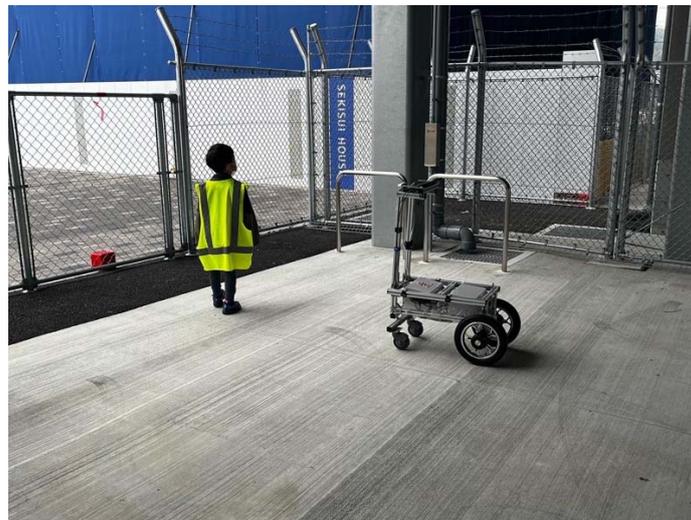
<https://www.city.ureshino.lg.jp/shisei/keikaku/28638/28758.html>



自動運転車両



走る村上 嬉野市長に追従するロボット車



ビブスを着た 5 歳児に追従するロボット車